



ルーテル学院だより

No.132
2017.9.1

http://www.luther.ac.jp/
発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015
東京都三浦市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611
FAX:0422-33-6405
発行人 江藤 直純

本学は10年以上臨床心理学に特化した教育を行い、臨床心理学の知識を活かし社会で活躍する人材の育成に貢献してきました。本学の取り組みの一部を紹介いたします。

心理職の専門性を認める国家資格ができました。公認心理師です。これまでも臨床心理士など民間の資格をもった専門家が活躍して来ましたが、国家資格になって公的な位置づけが明確になります。

受験資格を得るためには、大学進学の時点を資格取得ができる学校を選ぶ必要があります。大学卒業後は、①心理職として2年以上の実務経験を積む方法と、②大学院に進学する方

本学の臨床心理実習は、学外の実際の対人援助の現場で行われています。実は、学部の段階で学外臨床心理実習を実施している大学は国内でも珍しく、まさに本学の「体験を重視する教育」を体現している授業であるとも言えます。

大学院での実習が臨床心理士の専門的トレーニングの場であるのに対し、学部の実習では保育園、発達障がい児の療育グループ、ホスピス病棟など、取って臨床心理士のいない現場に出ます。これらの施設で、子どもたちや利用者さん、患者さんと直接かわり、



また保育士、精神保健福祉士など様々な専門性を持つ先生方の指導を受けることによって、より幅広い視点で対人理解、対人援助

法と、二通りがあります。

ルーテル学院は大学でも大学院でも必要な科目をほとんど揃えています。今年9月に公認心理師法が施行されますので、来年度から公認心理師カリキュラムを提供する予定です。6年一貫心理職養成特別進学課程生（特進生）も開始します。

公認心理師ってなに？

教授 加藤 純

大学院では臨床心理士を養成する教育を堅持します。大学で公認心理師の科目を履修して大学院に進むと、公認心理師と臨床心理士の両資格を目指せます。

助を捉えることができるようになります。

実習先から戻ると学生は、毎回の実習体験を記録に整理し、毎週の授業で仲間と体験を話し合い、さらに担当教員から記録および話し合いのフィードバックを得ます。

充実した実習教育

専任講師 高城絵里子
専任講師 石川与志也

が、実習を終えた学生たちが新しい気づきを得て、力強く自身の進路を定めていく姿には感動を覚えます。学生がよい意味で「化ける」のが本学の臨床心理実習の醍醐味であると感じています。

公認心理師が2018年度から本格的にスタートしますが、本学ではこれまでも、臨床心理士の資格を目指し、大学院に進学する学生を育成してきた実績があります。公認心理師をこれから目指す方も、臨床心理士を目指す方も、



特集 90.90 国家資格 公認心理師がスタート

本学の取り組みを紹介します。

本学の制度・サポートを利用することで、充実した学びにつながるようになります。

田副ゼミは、現在6名の学部生が所属しています。安達あすかさん、内藤綾香さん、富川菜央さん、前田樹さん、宮越季春さん、村山美優さんです。今年の卒論・ゼミ論のテーマは、ストレス、兄弟姉妹の性格、喪失、おたなど、などをキーワードにしたバラエティに富んだ独創的な研究になっています。12月の完成が楽しみです。田副ゼミは、個性的でありながら、集団の中での適応的な行動もとれるバランスのとれた

卒業演習(ゼミ)の紹介

教授 田副 真美



学生が集まっています。就職希望の学生は、就職先が決まりました。現在は、大学院進学を目指している4名の学生が、卒論執筆と試験勉強に励んでいます。そのような忙しい中、8月12日、13日、29日には、文教大学教育学部の成田奈緒子先生との共同研究がありました。成田先生とのゼミ生と一緒に、実験対象の子どものお世話と生理学的検査や心理検査などをすべて学生たちだけで

大学院生によるチューター制度

助教 上田 紋佳



特に大学院生によるチューター制度が好評です。これは、大学院受験を希望する学部3、4年生が行っている自主的な勉強会に、本学の大学院生が、学生への学習のアドバイスを行うチューターとなり、学生の自主的な学びをサポートするものです。勉強会では、予め解いてきた過去問の答え合わせをしたり、わからなかった英文の内容について、皆で考えたりしながら、理解を深めていきます。勉強会に参加している



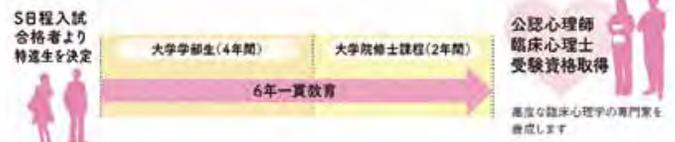
強会に参加している学生からは「勉強会に参加することで、受験勉強が進みます」「優秀な院生さんと一緒に勉強することで、良い刺激を受けられます」という声が聞かれるなど、受験勉強に役立っているようです。さらに、臨床心理学の専門家を目指す方たちのために、2018年度から、「6年一貫心理職養成特別進学課程生（特進生）」の制度がスタートします。特進生は、学部4年生時に特進生大学院特別入試にて大学院に優先的に入学できます。また、大学院で学ぶ授業の先取りとなる特別講座に参加できます。今後も、本学からの多くの心の専門家の誕生が期待されます。



実施しました。他大学の学生との打ち合わせや実験の準備を精力的に行っているゼミ生の姿を見ると頼もしく思い、また感謝しています。今後も、学生たちのびのびとした柔軟な思考と限りない可能性を大切に、指導していきたいと思っています。6名全員が笑顔で3月の卒業式を迎えることができることを、楽しみにしています。

6年一貫特進生制度はじまる！

2018年度から試験が始まる予定の国家資格「公認心理師」、さらに歴史のある認定資格「臨床心理士」といった臨床心理学を専門とする専門家を目指す方たちのために、学部4年と修士2年を連結した「6年一貫心理職養成特別進学課程生（特進生）」の制度を設けています。



お問い合わせ 企画広報センター 0422-32-2949

行事予定

9月～12月

- 9月9日(土) AO入試I期面談日
- 9月11日(月) 集中講義
- 9月14日(木) 後期授業開始
- 9月15日(金) オープンキャンパス
- 9月16日(土) オープンセミナー(大学院)
- 9月23日(土) 一日大学・神学校創立記念礼拝
- 9月26日(火) 前期卒業式
- 9月27日(水) スポーツ大会
- 9月29日(金) 秋の高校生のための体験講座
- 10月9日(月) 大学院入試I期(臨床心理学専攻修士課程)
- 10月21日(土) 宗教改革記念礼拝
- 10月25日(水) AO入試II期面談日
- 10月28日(土) 保護者のためのオープンキャンパス
- 11月4日(土) 愛祭(学園祭)
- 11月4日(土) 公募制・推薦・社会人入試
- 11月25日(土) 自己推薦入試
- 12月9日(土) クリスマス礼拝
- 12月13日(水) オープンキャンパス
- 12月16日(土) オープンセミナー(大学院)
- 12月23日(土) 通常授業終了

実習報告

児童分野

子ども一人ひとりと個別に向き合う

子ども支援コース3年 松永 彩夏
都立狛江高等学校出身

私は児童養護施設「二葉学園」のグループホームで30日間実習をさせていただきました。子どもとの関わりや夕食作りの補助、掃除などの生活援助を中心に行いました。毎週行われる職員会議にも参加させていた

だき、他職種との連携の大切さ、職員間の情報共有の方法を学びました。実習中期に、児童自立支援計画書の作成をおして体験し、子どもとの関係作りとは、子どものことを理解することから始まるのだと気づきました。児童自立支援計画書の作成を始めるまで、子ども達と仲良くなれたから関係ができていたと思っていました。しかし、実際に作成を始める

ると計画書をほとんど埋めることができず、子どもと個別の関わりが来ていないこと、子どもへの理解が足りないことに気づき、子ども一人ひとりと向き合うことを意識して関わるようになりました。子ども達の私に対する関わり方も変わり始め、部屋に呼んでもらえるようになり、家族の話や将来についての話など深い話をしてくれるようになりました。そこから子どもの思いやそれに対する課題にも気づき始めました。この児童自立支援計画書の作成を通して、子どもとの関係作りとは、日々の関わりの中で子どもと向き合っ

て、理解しようとするのが大切だと学びました。子ども達と関係が出来たところで終わってしまう実習に少し物足りなさを感じるほど、様々な場面でやりがいを感じました。今後は、この経験を糧に将来の目標を見定めていきたいと思

います。

障がい分野

「最善の支援とは」を学ぶ

福祉相談援助コース3年 今井 凜人
基督教独立学園高等学校出身

私は小金井市障害者福祉センターで生活介護事業の現場実習を主軸に、自立訓練(機能訓練)への参加、外部のグループホーム、就労継続支援B型事業所の訪問・体験など、施設内外において多様な学びの機会が与えられました。

生活介護事業は、利用者の障害特性や意向に応じた4つのグループに分かれており、創作活動や軽運動、付録作業などに参加しました。実習開始時は、利用者とにかくコミュニケーションをとり続けることだけを考えていました。しかし利用者との関わり、職員の方からアドバイスをいただくなかで、利用者の様子を観察し、その時々々の心身の調子や一人ひとりの障害特性、利用者同士の関係など、様々なことを考慮したアプローチをすることが大切なのだと、考えを改めさせられました。

また、実習の後半では個別支援計画作成に取り組みました。特定の利用者者をアセスメントし、支援を実践しましたが、上手くいかないと感じる場面がほとんどでした。しかし、「即効性のある支援はない」と考え、多様な支援の方法を模索し、粘り強く支援を継続していくことが大切なのだと学ぶことができました。

今回の実習を通して、何が利用者にとっての最善の支援なのかを自身に問い続けていました。支援にゴールを作らず、その時々々の最善の支援のために努力し続けることが大切だと思います。実習で学んだことを活かし、福祉に携わる者としてさらに成長していきたいと思

います。

ホームカミングパーティー

ルーテル学院同窓会 会長 松岡俊一郎

2017年6月24日午後、ルーテル学院同窓会総会の後、ホームカミングパーティーが100名を超える参加者を得て行われました。例年のように、多数の定年退職をされた先生方、職員の皆様にお越しいただき、現職教職員卒業生が集まりました。特に卒業生10年刻みの出席者はご招待としてお越しいただきました。ルーテル学院・神学校は、年々整備され、それぞれが過ぎた時代のキャンパスとは変わっています。その月日は自分たちの成長、学院の発展の証として新鮮に映ったのではないかと思います。キャンパスで過ごした日々は、卒業生にとってはその後の活躍の土台です。これからもこのように過ごしたキャンパスライフを糧として、またホームとして支えていければとあらためて思いました。

米国ハワイ州 Kids Hurt Too

～前 Executive Director シンシア・ホワイト氏 講演～

報告者 教授 福島喜代子



子どもが喪失体験をしたとき、あるいは、トラウマに遭遇したとき、どのように対応し、支えればよいか。そのような「グリーフ・サポート」等に関する専門家、シンシア・ホワイト氏に本学で特別講演をしていただきました。まず、2017年6月27日(火)の1限は「子どものグリーフ・サポート」をテーマにした講演でした。児童福祉を学ぶ学生や、外部受講者が聞き入り、子どものグリーフの基本的な理解とどのような対応が求められているかについて学びを深めました。

翌6月28日(水)の4限は、現場の実践者を対象とした講演で、「子どものグリーフとトラウマの理解と対応」のテーマで提供されました。グリーフとトラウマの違い、子どものグリーフに寄り添うことや、トラウマからの回復を支援するための専門的な知識と技術についての講義がされました。

シンシア・ホワイト氏の講演はいつも具体的でわかりやすく、かつ、心に響きます。この講演の後、シンシア・ホワイト氏は、東北大地震の被災地へ、子どものグリーフ・サポートプログラムが継続実施される環境づくりの支援と研修をするために向かい、その後米国に戻りました。

2017年度 保護者会が開催されました

学生支援センター長 村上 秀紀



本学では毎年6月の最終土曜日に保護者会を開催しています。今年は6月24日に開催し、68名の保護者の参加がありました。午前中は、全体会として本学の国際プログラムをテーマに「在学留学」「海外研修」等の概要の説明があり、在学生・卒業生に体験談を話していただきました。その後、各コースに分かれて昼食会、午後は所属コースからの現況報告がありました。希望者には、個別相談の時間が設けられ、学業・学生生活・進路等を担当教員と共有されました。保護者のご理解とご協力を得て、本学教育の一層の充実を考えると良い機会になったと思います。

夏の「高校生のための体験講座」を開催しました!

専任講師 浅野 貴博



臨床心理コース

7月25日と26日の2日間に渡り「高校生のための体験講座」が開催されました。猛暑の中、40名弱の参加者がありました。「福祉」「心理」「子ども」「キリスト教」の各分野に分かれ、講義や様々な体験学習等を通して、共通の関心や目標を持つ参加者同士で学びを深めることができました。また、ランチ交流では在生とも交流し、参加した高校生は、授業やサークル、アルバイトのことなど、実際の大学生活についても熱心に聞いていました。私が担当した福祉分野では、現在の様々な福祉的課題に対応するために、幅広い分野でソ



子ども支援コース

シャルワーカーの働きが求められていることを、教員による講義に加えて、社会福祉協議会で働く卒業生の話を通して学びました。さらに、高齢と障がい分野の施設を見学し、実際の支援がどのように行われているかを学びました。

参加者の感想をアンケートから一部紹介します。

「実際に働く現場を見れてよかったです。」「先輩たちと楽しく話をするのができてよかったです。」「今後の学習の参考となりました。」「初めてでも分かりやすかったです。」「オープンキャンパスでは知れないことが知れてよかったです。」「礼拝に参加したり、ルターのことを知れたことが面白かったです。」「

秋にも高校生のための体験講座を企画しています。皆さんのご参加をお待ちしています。



キリスト教人間学コース



福祉相談援助コース 地域福祉開発コース

2017年 秋の高校生のための体験講座

10月9日(月・祝) 要予約 ランチ付き ※プログラムの詳細はHPでご確認ください。 受付 9:30~

オープンキャンパスのご案内

9月16日(土) 受付 12:30

11月4日(土) 受付 12:30

保護者の皆さまのためのオープンキャンパス



お申し込み・お問い合わせ 企画広報センター TEL 0422-32-2949 FAX 0422-33-6405までお気軽にお問い合わせください。メール koho@luther.ac.jp